

電波時計 デジタル目覚まし時計 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を自動的に受信して現在時刻を修正

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 - この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 8RZO28-4

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。
お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZO28」をお伝えください。

お問い合わせ先

■お客様相談室 **フリーダイヤル ☎0120-557-005**

受付時間 9:00～17:45（土日、祝日および当社休日を除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**



本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

ご使用上のご注意（はじめにお読みください）



ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

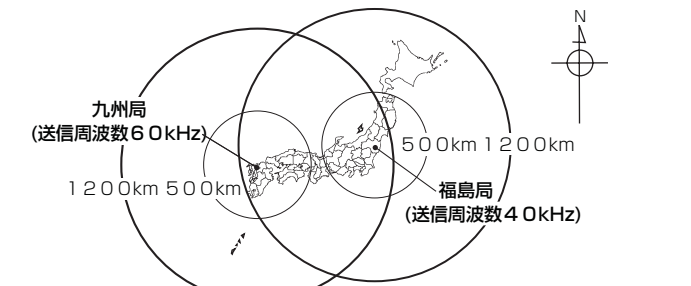
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）


電波の受信範囲について


送信所からおおよそ1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。




この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

■誤飲による事故防止について

	警告	小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
---	----	--

	分解禁止	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
---	------	-----------------------------

	注意	時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
---	----	--

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



電化製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。





朝夕の時間帯、雨天のとき


※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。


※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。


⚠ 警告 電源アダプターについて


	プラグを持つ	コンセントから電源アダプターを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源アダプター本体を持って引き抜いてください。電源コードを持って引くとコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
---	--------	---


	プラグを抜く	長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。
---	--------	---

	禁止	たこ足配線をしないでください。異常発熱や火災の原因になることがあります。
---	----	--------------------------------------

	ほこりを取る	電源アダプターの電極およびコンセントの差し込み口にほこりが付着しているときには、乾いた布でよく拭きとってください。そのまま使用すると火災の原因になります。
---	--------	---

	使用禁止	電源アダプターおよび電源ケーブルが傷んだときは使用を中止してください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
---	------	--

	プラグを抜く	時計が表示されない、時計や電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには直ちに電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電・火災の原因になります。
---	--------	---

	禁止	濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
---	----	---------------------------------------

こんなときには (Q&A)

時計が正しい時刻で動いていない。

- 電波受信機能が「ON」になっているか確認してください。
- 受信マークが表示されているか確認してください。受信マークが消えている場合は正常に受信できていないためです。 「電波を受信できない場合」をご覧ください。
- 受信マークが表示されている場合は、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押してください。誤受信を繰り返す場合は設置場所を変えてください。

指定した時刻にアラームが鳴らない。

- アラームの時刻設定で、午前・午後の指定を確認してください。

受信できなくてもアラーム機能は使えますか？

- 電波を受信できる、できないに関係なくご利用いただけます。受信できない場合は、手動で現在時刻を合わせてからお使いください。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

- 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。停波に関する情報は「情報通信研究機構」のホームページに掲載されています。ホームページアドレス http://jjy.nict.go.jp
- 近くにノイズの発生源がある可能性があります。場所を変えて受信できるか確認してください。

海外で使えますか。

- 日本以外の電波は受信できないことや電源など日本国内での使用を前提にしていますので、海外でのご使用はおやめください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

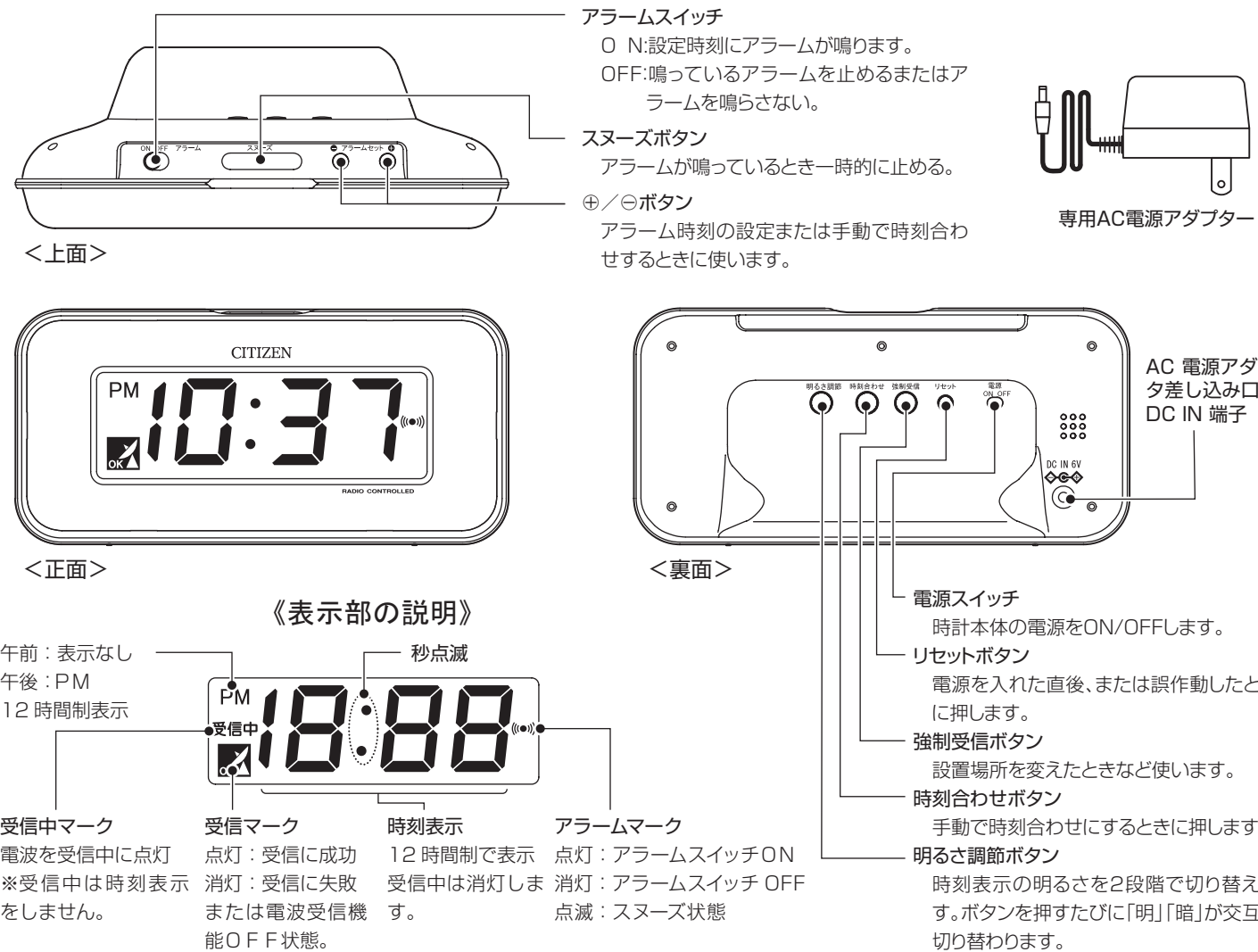
●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能ですが、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

各部の名称と役割

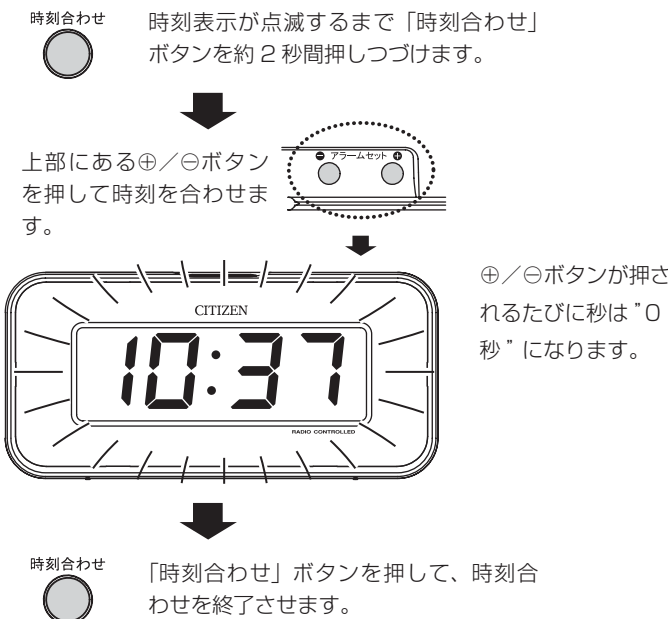


電波を受信できない場合

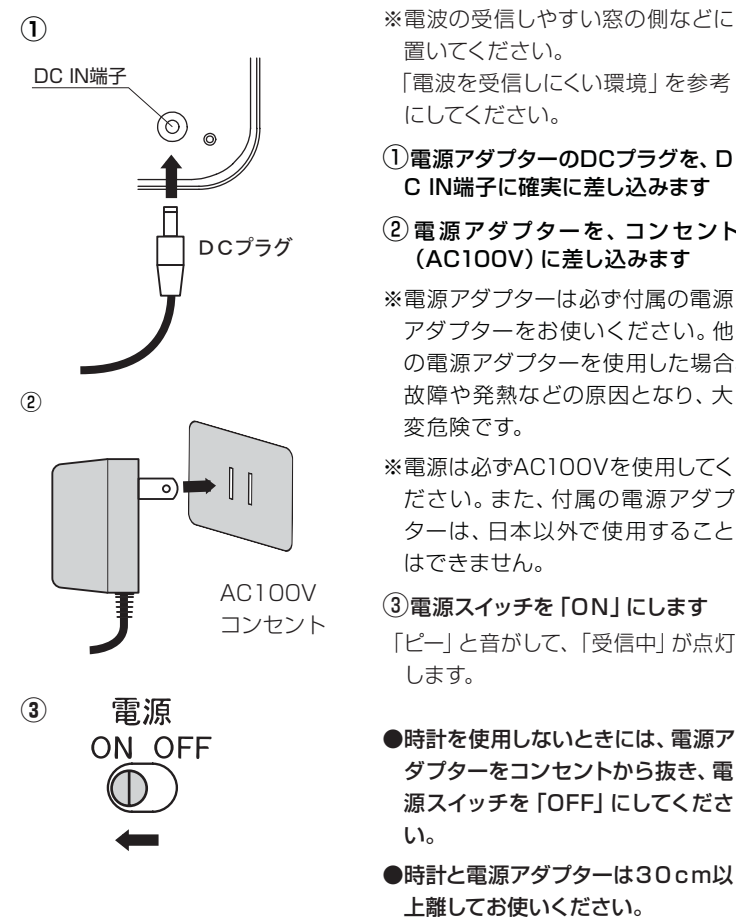
- 朝までそのまましておく
 夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
 電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。次に、強制受信ボタンを押して、最長14分間そのまま待ちます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合わせ方
 - ①「時刻合わせ」ボタンを時刻表示が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - ②時刻を設定します。
 ⊕（進む）、⊖（戻る）ボタンを押して時刻を合わせます。⊕または⊖ボタンを押し続けると早送りになります。
 - ③「時刻合わせ」ボタンを押して時刻合わせを終了します。
 ※電波受信機能が「ON」状態では、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。
 ※約10秒間ボタン操作がされなかったときには、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
 ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

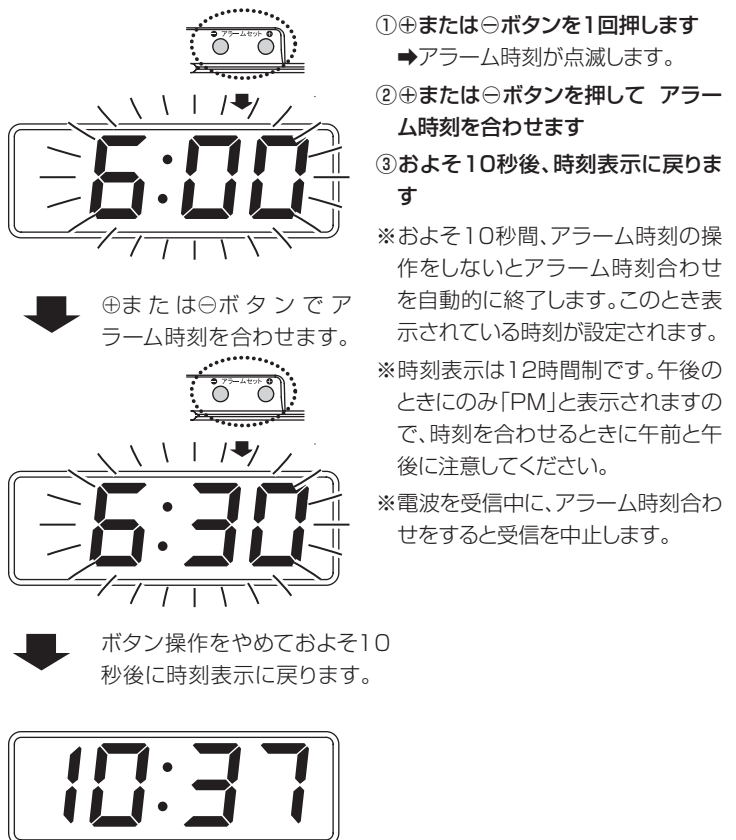


1.電源アダプターを接続し、受信を開始します

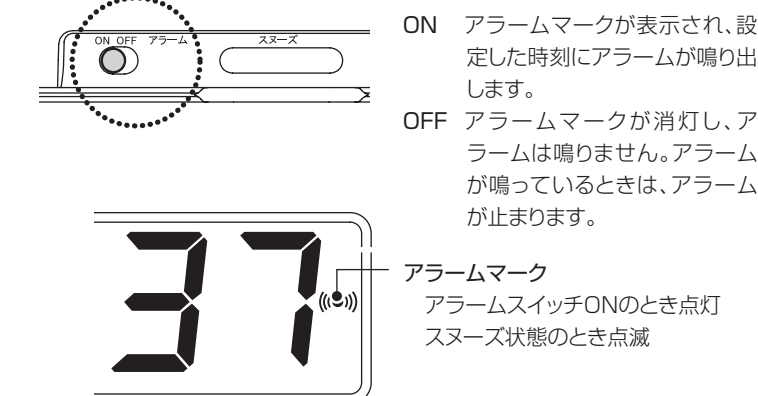


2.アラームの使い方

アラーム時刻の合わせ方



アラームスイッチの設定



アラームオートストップ機能について
 アラームの鳴っている間に、スヌーズ操作をしない場合は、約2分間鳴り続けて自動的に終了します。自動的に停止した場合、アラームスイッチは「ON」のままですので、翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

スヌーズボタンについて(スヌーズ機能について)
 アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音が停止してまた鳴り出します。この操作は最大7回までです。完全に止めるときには、アラームスイッチを「OFF」にしてください。スヌーズ中は、アラームマークが点滅します。

電波受信機能を「OFF」にして使用方法

電波時計としてお使いの場合は、電波受信機能を「ON」にしてください。電波の受信できない場所や任意の時刻を設定してお使いの場合は「OFF」にして、手動で時刻合わせをしてください。

電波受信機能を「OFF」にする方法
 「リセット」ボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。1、2回目までは「ピー」と音がして、「受信中」が点灯し、受信を開始します。
 ※「OFF」になると、「リセット」ボタンを押しても「ピー」という確認音が鳴りません。
 ※手動で時刻を合わせてください。

電波受信機能を「ON」にする方法
 ⊖ボタンを押しつつながら、「リセット」ボタンを1回押します。「ピー」と鳴って、受信を開始します。

強制受信ボタンとリセットボタンについて

- 強制受信ボタンは、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。電波受信機能が「OFF」に設定されているときは無効です。
- リセットボタンは、電源を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。時刻は午前12:00、アラームは6:00に初期化されます。電波受信機能が「ON」状態のときは、電波の受信を開始します。電波受信機能が「OFF」状態のときは、初期化された時刻からときを刻み始めます。

表示の明るさの切り替えについて

「明るさ調節」ボタンを押すと、時刻を表示する明るさが「明」と「暗」が交互に切り替わります。

停電について

ご使用中に停電が発生した場合、内蔵電池により時を刻みつづけます。(フル充電状態で約1ヵ月)
 ※停電中は時刻の表示は行いませんが、電力が回復すれば、正常に時刻を表示します。
 ※電源スイッチを「OFF」にした場合、時刻および設定されたアラーム時刻は失われます。
 ※停電中は電波の受信を行いません。

製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合（受信直後） 表示精度：±1秒以内 受信回数1~3回/日 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒以内（常温中）
使用温度範囲	-10℃~+50℃
電源	電源アダプター 入力：AC100V 50/60Hz 5.85VA 出力：DC 6V 500mA
使用電池	停電対応用 ML2016（約1日の通電でフル充電）
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
機能	12時間制表示、明るさ2段階切り替え、電子音アラーム、アラームオートストップ、スヌーズ機能

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。